

広島南道路建設 促進に関する要望書

広島南道路建設促進期成同盟会
広島広域都市圏協議会

全国的に人口減少・少子高齢化社会が到来する中において、広島広域都市圏域の経済を活性化し、自律的で持続的な発展を図るためには、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築する必要があります。

このため、平成28年3月には広島市と圏域の23市町との間で、連携中枢都市圏形成に係る連携協約をそれぞれ締結し、「誰もが住み続けたい、住んでみたい」都市圏の形成に向け、圏域内の交流・連携の一層の強化を図っているところであり、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現のため、圏域内の広域幹線道路ネットワークの充実・強化を図ることがますます求められています。

広島湾の臨海地域は、東部流通業務団地、西部流通業務団地、廿日市木材工業団地などの埋立事業をはじめとする開発事業等により街づくりや流通拠点づくりなどが進められています。また、本年3月に改訂された広島港港湾計画において、新たな産業用地の確保等が位置付けられており、今後、関係市町における産業基盤は、飛躍的な発展を遂げることが期待されています。さらに、本年4月には、広島南道路の一部区間が、平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保や物流生産性の向上に資する「重要物流道路」として指定されるなど、広島南道路の整備は緊急かつ不可欠なものになっています。

広島南道路は、東は東広島バイパス、広島呉道路、西は広島

岩国道路と接続し、安芸郡海田町から坂町、広島市を経て廿日市市に至る主要幹線道路として、臨海地域を有機的に連絡し、沿道の環境改善及び地域の開発並びに経済の発展に大きく貢献する重要な道路であるとともに、広島都市圏の中心部に集中する交通を円滑に処理する自動車専用道路網の一部を形成する路線でもあります。

このような中、昭和63年11月に海田～宇品間が、平成9年5月に宇品～廿日市間が都市計画決定され、国、広島市等が一体となって着実に事業の推進が図られています。

これまで、平面街路部においては平成14年10月に宇品地区、平成22年4月に出島地区～吉島地区間（元安川渡河部橋りょう除く）、平成26年3月に吉島地区～観音地区間が供用開始され、また、指定都市高速道路等の自動車専用道路部においては平成12年3月に仁保ジャンクション～宇品出入路間、平成22年4月に宇品出入路～吉島出入路間、平成26年3月に吉島出入路～商工センター出入路間が供用開始されるなど、御当局の取り組みに対し心から感謝いたします。

このように形成されつつある自動車専用道路ネットワークを活かし、物流の効率化が図られているほか、沿線への大型店舗の出店が促進されています。

さらに、沿線の臨海部は、大型クルーズ船の寄港地となっており、広域観光を支える基盤としての役割がますます期待され

ています。

今後も広島南道路の早期機能発揮に向けて、地元経済界と関係自治体が総力を結集し、強固な連携のもと事業が円滑に進むよう取り組んでまいりますので、国におかれましては、明神高架橋や元安川渡河部橋りょうなど、事業化区間の着実な事業展開を図られるとともに、**未事業化区間である商工センター四丁目～廿日市インターチェンジ間の整備方針を決定していただき、広島南道路全線の早期完成**を図られるよう、よろしくお願いいたします。

このうち、商工センター四丁目～木材港西間では、広島南道路の平面街路部を成す臨港道路の4車線化が令和一桁代中頃の完成に向けて着実に進んでいますが、広域幹線道路ネットワークの充実・強化を一層図るためにも、平面街路部を併設しない高架部のみの区間となっている、**木材港西～廿日市インターチェンジ間の優先的な整備**をお願いいたします。

令和元年 月 日

広島南道路建設促進期成同盟会

会長 広島市長 松 井 一 實

広島広域都市圏協議会

会長 広島市長 松 井 一 實



広島南道路建設促進期成同盟会会員

会 長	広 島 市 長	松 井 一 實
副会長	廿 日 市 市 長	眞 野 勝 弘
監 事	海 田 町 長	西 田 祐 三
〃	坂 町 長	吉 田 隆 行
会 員	広 島 市 議 会 議 長	山 田 春 男
〃	廿 日 市 市 議 会 議 長	佐々木 雄 三
〃	海 田 町 議 会 議 長	桑 原 公 治
〃	坂 町 議 会 議 長	川 本 英 輔
〃	(一社)中国経済連合会会長	苅 田 知 英
〃	広 島 商 工 会 議 所 会 頭	深 山 英 樹
〃	廿 日 市 商 工 会 議 所 会 頭	細 川 匡
〃	広 島 安 芸 商 工 会 会 長	吉 田 栄 二
〃	広 島 経 済 同 友 会 代 表 幹 事	佐々木 茂 喜
〃	広 島 県 経 営 者 協 会 会 長	西 川 正 洋
〃	広 島 商 工 セ ン タ ー 地 域 経 済 サ ミ ッ ト 会 長	伊 藤 學 人

(順不同)

広島広域都市圏協議会

会 長	広 島 市	長	松	井	一	實
会 員	吳 市	長	新	原	芳	明
〃	竹 原 市	長	今	榮	敏	彦
〃	三 原 市	長	天	満	祥	典
〃	大 竹 市	長	入	山	欣	郎
〃	東 広 島 市	長	高	垣	廣	徳
〃	廿 日 市	長	眞	野	勝	弘
〃	安 芸 高 田 市	長	浜	田	一	義
〃	江 田 島 市	長	明	岳	周	作
〃	府 中 町	長	佐	藤	信	治
〃	海 田 町	長	西	田	祐	三
〃	熊 野 町	長	三	村	裕	史
〃	坂 町	長	吉	田	隆	行
〃	安 芸 太 田 町	長	小	坂	眞	治
〃	北 広 島 町	長	箕	野	博	司
〃	大 崎 上 島 町	長	高	田	幸	典
〃	世 羅 町	長	奥	田	正	和
〃	岩 国 市	長	福	田	良	彦
〃	柳 井 市	長	井	原	健	太 郎
〃	周 防 大 島 町	長	椎	木	巧	
〃	和 木 町	長	米	本	正	明
〃	上 関 町	長	柏	原	重	海
〃	田 布 施 町	長	東		浩	二
〃	平 生 町	長	浅	本	邦	裕

(順不同)